

## 第5・6学年 算数科学習指導案

日 時	平成20年11月13日(木)
児 童	第5学年 男4名 女2名 計6名 第6学年 男1名 女2名 計3名
指導者	小田中 牧子

## 第 5 学 年

### 1 単元名 8 小数のわり算を考えよう

#### 2 単元の指導について

##### (1) 単元について

学習指導要領第5学年の内容A「数と計算」(3)小数の乗法、除法では、「小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを適切に用いることができるようにする。」とあり、前学年までの学習をもとにして、除数が小数の場合の除法の意味について理解を深めることをねらいとしている。

小数については、第4学年での $\frac{1}{10}$ の位の範囲でしくみや加減計算について学習しており、第5学年で $\frac{1}{1000}$ の位まで拡張し、小数が整数と同じ十進法であることを扱っている。また、小数の乗法については、第5学年で小数×整数を学習し、前単元で小数×小数の意味と計算方法を学習している。

本単元の学習では、除数が小数の場合の除法の意味の拡張とその計算のしかたについて理解し、それを用いる能力を高めること、計算法則は、数範囲が小数の場合でも成り立つことを理解することをねらいとしている。除法の意味を拡張するにあたっては、はじめに等分除を取り上げ、除法の基本的な意味が「1つ分の量」を求める計算であることを理解させていく。また「÷小数」の計算では、除数と被除数を10倍、100倍して、「÷整数」に帰着して計算していけばよいことを理解させていく。

##### (2) 児童について

9月に行った算数の学習に関する意識調査の結果では全員が「算数がすき」と答えている。「自力解決の場」では、既習事項を生かして自分の考えをもてるようになってきてはいるものの多様な考えをもつ児童が少なく、1つの考えだけにまとめてしまい、学び合いで多様な考えを出し合うということは少ない。また、「適用の場」のコース別学習では、どの児童も進んで学習を進めるものの、計算処理の速さや正確さに個人差があり、同じ計算を何度も間違える児童や、計算のしかたが十分に理解できず計算処理が遅くなってしまいがちな児童も数名見られる。

レディネステストの結果を見ると、小数÷整数の計算では、4問中全問正答者が2名で、2問以上正答が3名だった。未習内容の小数÷小数については、5名が筆算に取り組んでみたものの、1問正解者が1名で、残りの4名は小数点の位置が違っていた。

##### (3) 指導にあたって

第1小単元では、小数の除法の意味の拡張を図り、小数でわる筆算のしかたを理解させることをねらいとしている。小数の除法の意味では、「自力解決の場」で数直線図や言葉の式を手がかりに考えさせ、「÷整数」の場面と対比させながら「1つ分の量」を求める計算という除法の意味を拡張したい。「÷小数」の計算では、「÷整数」に帰着させるため、「被除数と除数に同じ数をかけても商は変わらない」という除法の性質を用いて導き、この考えをもとに「÷小数」の計算のしかたを形式化して筆算としてまとめていきたい。筆算の形式を学習した後、純小数でわると、商は被除数より大きくなること、あまりの位取り、小数の除法の答えを概数で求めることを理解させ、「適用の場」のコース別学習で習熟を図ってきたい。

第2小単元では、比較量、基準量が小数のときも何倍かは除法で求められることを理解させた上で、乗除の相互関係の理解をねらいとしている。小数倍については、これまで「整数÷整数=小数」で求めているが、本単元では、純小数倍も含めて小数倍の意味を理解させていきたい。また、倍を表す数と比較量を知って、基準量を求める場合、求める基準量を□として、□×小数倍=比較量を式表示した後、逆算の考えによって□=比較量÷小数倍を導いていきたい。その際、数直線図を提示して、数量の関係を的確にとらえさせながら指導していきたい。

本時では、「自力解決の場」に重点をおき、商が純小数や、被除数に0を補う場合の筆算のしかたを理解させたい。また、机間支援計画に基づき、既習事項である小数÷小数の筆算のしか

## 第 6 学 年

### 1 単元名 7 分数のかけ算とわり算を考えよう (2)

#### 2 単元の指導について

##### (1) 単元について

学習指導要領第6学年の内容A「数と計算」(3)分数の乗法、除法では、「分数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを適切に用いることができるようにする。」とあり、前学年までの学習を基にして、除数が分数である場合の除法計算の意味とその計算のしかたについて理解を深めることをねらいとしている。

整数の除法の意味を小数へと拡張することについては、除数、被除数共に第5学年で学習してきている。また、分数に拡張することは、被除数については前単元「分数のかけ算とわり算を考えよう(1)」で学習している。

本単元では、除数が分数である場合の除法計算の意味とその計算のしかたについて理解し、それを用いる能力を高めることをねらいとし、本単元で小学校での計算の学習を終えることになる。本単元は、分数の除法の計算方法を記憶して計算するだけでなく、図解を手がかりとして分数でわることの意味を理解させたい。計算のしかたの理解を図っていく。また、分数倍については、分数の乗除法に関して倍(割合)の見方を取り上げ、分数倍の概念をさらに理解させていく。

##### (2) 児童について

算数の学習では、3人とも課題に対してまじめに取り組み、9月に行った算数の学習に関する意識調査の結果では「算数がすき」「すこしすき」「あまりすきでない」がそれぞれ1名だった。3名だけの学年ではあるが、計算処理能力に大きな差があり、1単位時間内に十分な習得に至らない児童と、自分の力を十分に発揮することができない児童に大きく分かれることがある。「自力解決の場」では、多様な考えを式や言葉に表すことができる児童と1つの考えにじっくり取り組み、個別指導を必要とする児童がいる。「適用の場」では、ヒント付のコースでヒントをもとにじっくりと問題に取り組んでいる児童と、基礎から発展へと流れるコースで、自分の力でどんどんコースを進めることができる児童がおり、どの児童も時間いっぱい学習に取り組んでいる。

レディネステストの結果を見ると、単位分数の考え方は、全員ができているものの、異分母分数の加減計算では、同分母に直しても約分が不十分のため不正解という児童がほとんどだった。未習内容の分数÷分数や分数で時間を求める問題は、全員未記入であった。

##### (3) 指導にあたって

第1小単元では、分数÷分数の指導について、わる数が整数の場合と対比させながらとらえさせ、分数÷分数の計算のしかたを学習していく。第1時の分数の除法の意味では、「自力解決の場」で数直線図やことばでの説明など多様な解決方法に取り組みせ、分数の除法の意味をとらえさせたい。また、約分ができる数値の計算や整数÷分数、3口の分数の乗除混合計算のしかたを理解させ、「適用の場」のコース別学習で習熟を図っていききたい。

第2小単元では、時間の分数表示を扱っている。時間は60進法なので、その計算のしかたが難しいと思われるので、時間の分数表記を図を通して視覚的に考えさせ、分数表示についての理解を図っていききたい。

第3小単元では、分数の倍とかけ算・わり算について、真分数を中心に分数倍の意味や、基準量と分数倍から、分数倍にあたる量(比較量)の求め方や、倍を表す数と比較量の関係を知って基準値を求める方法を理解させていく。その際、数直線図を提示して、数量関係を的確にとらえさせながら指導していききたい。

本時では、「適用の場」に重点をおき、3口の分数の乗除混合計算のしかたを理解させたい。「適用の場」では、机間支援計画をもとにコース別学習を設定し、じっくりコースでは、3口

たを振り返らせ、商が純小数の場合や被除数に0を補う場合の商のたつ位置や小数点の位置を確認し合うことで、正しく筆算ができるようにさせたい。

### 3 単元目標

☆ 除数が小数の場合の除法の意味とその計算のしかたについて理解し、それを用いる能力を高める。また、計算法則は、数範囲が小数の場合でも成り立つことを理解する。

**関心・意欲・態度**

・除数が小数の場合でも、既習の整数の場合の数量関係などをもとにして、除法の式に表そうとする。

**数学的な考え方**

・整数の除法計算と関連づけて、除数が小数の除法計算のしかたを考える。

**表現・処理**

・除数が小数の除法計算することができる。

**知識・理解**

・除数が小数の除法の意味やその計算のしかたを理解する。

### 4 指導計画（全12時間）

小単元	時数	目 標	評価基準と評価方法	単元目標との関連
			概ね満足	
	1	レディネステスト		
1 小数のわり算	2	○小数でわることの意味と、整数÷小数( $\frac{1}{10}$ の位まで)の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の整数÷整数、小数÷整数などに関連づけて、整数÷小数(<math>\frac{1}{10}</math>の位まで)の計算のしかたを考えている。(ノート・発言)</li> <li>小数でわることの意味を理解している。(発言・ノート)</li> </ul>	考  知
	2 本時 2/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<math>\frac{1}{10}</math>の位までの小数どうしの除法の筆算のしかたを理解し、その計算ができる。</li> <li>○<math>\frac{1}{10}</math>の位までの小数どうしの除法の計算(商が純小数や被除数に0を補う場合)ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>除法の性質を用いて既習の計算に帰着させ、<math>\frac{1}{10}</math>の位までの小数どうしの除法の筆算のしかたを考えている。(観察・発言)</li> <li>○<math>\frac{1}{10}</math>の位までの小数どうしの除法の筆算(商が純小数や、被除数に0を補う場合を含む)ができる。(ノート)</li> <li>小数÷小数の除法の筆算のしかたを理解している。(ノート・発言)</li> </ul>	考  表  知
	1	○純小数でわると、商は被除数より大きくなることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>数直線上で除数の大きさと関連づけて、被除数と商の大小関係を考えている。(観察・発言)</li> <li>純小数でわると、商が被除数より大きくなることを理解している。(発表・ノート)</li> </ul>	考  知

の計算を一つの式にまとめ、既習事項の分数のわり算（計算途中で約分ができる計算）ができるようにし、ぐんぐんコースでは、分数と小数のまざった計算など発展的な問題にも取り組ませ、どの児童も時間いっぱい取り組めるようなコース別学習を設定していきたい。

### 3 単元の目標

☆ 除数が分数であるの場合の除法計算の意味とその計算のしかたについて理解し、それを用いる能力を高める。

関心・意欲・態度

・分数÷分数の計算のしかたを、分数の性質や既習の計算と関連づけて考えようとする。

数学的な考え方

・分数の性質や既習の計算をもとにして、分数÷分数の計算のしかたを考える。

表現・処理

・分数÷分数の計算ができる。

知識・理解

・分数÷分数の計算の意味やその計算のしかたを理解する。

### 4 指導計画（全12時間）

小単元	時数	目 標	評価基準と評価方法	単元目標との関連
			概ね満足	
	1	レディネステスト		
1 分数のわり算	2	○分数でわることの意味を理解する。 ○真分数÷真分数の計算のしかたを理解し、その計算ができる。	・分数の除法の意味を数直線図などを用いて考えようとする。（観察） ・図や計算のきまりを用いて既習の分数×整数、分数÷整数の計算をもとにして、真分数÷真分数の計算のしかたを考えている。 （ノート・発言） ・真分数÷真分数の計算ができる。 （ノート）	関 考  表
	1	○計算の途中で約分できるときは、約分すると簡単なことを理解する。 ○整数÷分数の計算のしかたを理解し、その計算ができる。	・整数÷分数の計算ができる。 （ノート） ・計算の途中で約分すると簡単に処理できることを理解している。 （発表・ノート）	表 知
	1 本時	○3口の分数の乗除混合計算のしかたを理解し、その計算ができる。	・3口の分数の乗除混合計算ができる。 （ノート）	表
	1	○分数の乗除の立式について理解を深める。	・問題場面における数量の関係を、数直線図を用いて立式することができる。 （ノート）	表

	1	○小数の除法におけるあまりの位取りについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりの小数点の位置を被除数と関連させて考えている。(観察・発言)</li> <li>・あまりのある場合の小数の除法計算ができる。(ノート)</li> </ul>	考 表
	1	○小数の除法の答えを概数で表すときの処理のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小数の除法の答えを、必要に応じて概数で表すことができる。(ノート・観察)</li> </ul>	表
	1	○学習内容を確実に身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を正しく用いて、問題を解決することができる。(ノート)</li> </ul>	表
2 小数の倍とわり算	1	○比較量、基準量が小数のときも、何倍かは除法で求められることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較量、基準量が小数の場合でも、何倍かを除法で求めることができる。(発言・ノート)</li> </ul>	表
	1	○倍を表す数が小数のときも、基準量は比較量÷倍で求められることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倍を表す数が小数の場合も、□を用いるなどして基準量を求めることができる。(ノート)</li> </ul>	表
まとめ	1	○学習内容の理解を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な学習内容について理解している。(ノート)</li> </ul>	知

2 時間と分数	1	○時間の分数表示について理解する。	・時間を分数表示して、問題解決に用いることができる。(ノート)	表
	1	○学習内容を確実に身に付ける。	・学習内容を正しく用いて、問題を解決することができる。(ノート)	表
3 分数の倍とかけ算・わり算	1	○比較量、基準量が分数の場合も、何倍かは除法で求められることを理解する。	・比較量、基準量が分数の場合も、図などを用いることによって整数倍に帰着して考えている。(発言・ノート)	考
	1	○倍を表す数が分数の場合も、何倍かにあたる大きさは基準量×何倍で求められることを理解する。	・倍を表す数が分数の場合も、比較量を求めるには、乗法を用いてよいことを理解している。(観察・ノート)	知
	1	○倍を表す数が分数の場合も、基準量は比較量÷何倍で求められることを理解する。	・倍を表す数が分数の場合も、□を用いるなどして基準量を求めることができる。(ノート)	表
まとめ	1	○学習内容の理解を確認する。	・基本的な学習内容について理解している。(ノート)	知

5 本時の指導

(1) 本時の目標

○  $\frac{1}{10}$  の位までの小数どうしの除法の筆算（商が純小数や、被除数に0を補う場合）のしかたを理解できる。

(2) 本時の重点評価規準

【表現・処理】

・  $\frac{1}{10}$  の位までの小数どうしの除法の筆算（商が純小数や、被除数に0を補う場合）ができる。

A	$\frac{1}{10}$ の位までの小数どうしの除法の筆算（商が純小数や、被除数に0を補う場合）ができ、その計算のしかたを説明することができる。
B	$\frac{1}{10}$ の位までの小数どうしの除法の筆算（商が純小数や、被除数に0を補う場合）ができる。
Bに至らない児童への手立て	
小数の筆算のしかたをふり返りながら、 $\frac{1}{10}$ の位までの小数どうしの除法の筆算（商が純小数や、被除数に0を補う場合）のしかたを理解させる。	

(3) 本時の指導

教師の支援と評価（・支援 ○評価） ※個に応じた指導の工夫	学 習 活 動	段階	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日学習することをつかませる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時の学習の確認                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日の学習内容を知る。</li> </ul> </li> <li>2 既習内容の想起                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の小数のわり算の筆算を行う。</li> </ul> </li> </ol>	ふ り か え る 8 分	■ ■ ■
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (1) の問題に着目させ、わる数がわられる数より大きいことに気づかせる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>3 問題の把握                             <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                                 (1) <math>2.8 \div 3.5</math>                                  (2) <math>1.8 \div 2.4</math>                                  (3) <math>8 \div 2.5</math> </div> </li> <li>4 課題の把握                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既習の筆算との違いをとらえ、本時の課題について確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                                 いろいろな小数のわり算の筆算のしかたを考えよう。                             </div> </li> </ol>	つ か む 5 分	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■



5 本時の指導

(1) 本時の目標

○ 3口の分数の乗除混合計算のしかたを理解し、その計算ができる。

(2) 本時の重点評価規準

【表現・処理】

・ 3口の分数の乗除混合計算ができる。

A	3口の分数の乗除混合計算が速く正確にできる。
B	3口の分数の乗除混合計算ができる。
Bに至らない児童への手立て	
分数のわり算のしかたをふり返りながら、かけ算だけの式になおさせ、一度に計算できるようにさせる。	

(3) 本時の指導

段階	学 習 活 動	教師の支援と評価（・支援 ○評価） ※個に応じた指導の工夫
<p>■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■</p>	<p>つ か む 5 分</p> <p>1 本時の学習の確認 ・ 今日の内容を知る。</p> <p>2 問題の把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <math display="block">\frac{3}{4} \div \frac{6}{5} \times \frac{1}{5}</math> </div> <p>・ 問題を見て、前時との違いを考える。</p> <p>3 課題の把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>わり算、かけ算のまざった分数計算のしかたを考えよう。</p> </div>	<p>・ 今日学習することをつかませる。</p>
<p>■ ■ ■</p>	<p>考 え る 10 分</p> <p>4 見通し ・ 計算の手順を考える。 ① 2回に分けて計算する。 ② 1つの式にまとめて計算する。</p> <p>5 自力解決</p> <p>① <math>\frac{3}{4} \div \frac{6}{5}</math> を計算し、その答えに <math>\frac{1}{5}</math> をかける。</p> <p>② <math>\frac{3}{4} \div \frac{6}{5} \times \frac{1}{5}</math> を <math>\frac{3}{4} \times \frac{5}{6} \times \frac{1}{5}</math> に直して計算する。</p>	<p>・ 2回にわけて計算するという考えの児童には、一度に計算できないか考えさせる。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・答えの大きさについて、1より大きい か小さいか見当をつけさせる。</li> </ul> <p><b>※個に応じた指導の工夫</b></p> <p>A：<math>\frac{1}{10}</math>の位までの小数どうしの除法の筆算（商が純小数や、被除数に0を補う場合）をし、その計算のしかたを説明できるようにさせる。</p> <p>B：<math>\frac{1}{10}</math>の位までの小数どうしの除法の筆算（商が純小数や、被除数に0を補う場合）ができるようにさせる。</p> <p>C：算数コーナーやノートに着目させ、既習の小数の筆算のしかたをもとに考えさせる。</p>	<p>5 見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数の筆算の仕方を想起する</li> <li>・商のたつ位置を確認する</li> </ul> <p>6 自力解決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(1)～(3)の問題に取り組む。</li> </ul>	<p>考 え る 20 分</p>	<p>■ ■ ■ ■ ■</p>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に書いて発表させる。</li> <li>・商のたつ位置と小数点の位置を確認させる。</li> </ul>	<p>7 学び合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(1)～(3)の考えを発表しあう。</li> <li>・黒板に筆算を書き、筆算の手順を発表し合う。</li> </ul>		<p>■ ■ ■ ■ ■ ■ ■</p>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発表をもとに、ことばで補足しながら、もう一度全員で筆算をする。</li> <li>・大事なことはふきだしに書き、今日のポイントとしておさえさせる。</li> </ul>	<p>8 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;"> <math display="block">\begin{array}{r} 0.8 \\ 3.5 \overline{) 2.80} \\ \underline{280} \\ 0 \end{array}</math> </td> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商の一の位に0をたてる。 商に小数点をうつ。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <math display="block">\begin{array}{r} 0.75 \\ 2.4 \overline{) 1.80} \\ \underline{168} \\ 120 \\ \underline{120} \\ 0 \end{array}</math> </td> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商の一の位に0をたてる。 商に小数点をうつ。 わられる数に0をつけたしてわり進む。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <math display="block">\begin{array}{r} 3.2 \\ 2.5 \overline{) 8.0} \\ \underline{75} \\ 50 \\ \underline{50} \\ 0 \end{array}</math> </td> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わられる数が整数のとき 0をつけたす。 小数点をうつ。</li> </ul> </td> </tr> </table> </div>	$\begin{array}{r} 0.8 \\ 3.5 \overline{) 2.80} \\ \underline{280} \\ 0 \end{array}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商の一の位に0をたてる。 商に小数点をうつ。</li> </ul>	$\begin{array}{r} 0.75 \\ 2.4 \overline{) 1.80} \\ \underline{168} \\ 120 \\ \underline{120} \\ 0 \end{array}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商の一の位に0をたてる。 商に小数点をうつ。 わられる数に0をつけたしてわり進む。</li> </ul>	$\begin{array}{r} 3.2 \\ 2.5 \overline{) 8.0} \\ \underline{75} \\ 50 \\ \underline{50} \\ 0 \end{array}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わられる数が整数のとき 0をつけたす。 小数点をうつ。</li> </ul>	<p>ま と め る 5 分</p>	<p>■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■</p>
$\begin{array}{r} 0.8 \\ 3.5 \overline{) 2.80} \\ \underline{280} \\ 0 \end{array}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商の一の位に0をたてる。 商に小数点をうつ。</li> </ul>								
$\begin{array}{r} 0.75 \\ 2.4 \overline{) 1.80} \\ \underline{168} \\ 120 \\ \underline{120} \\ 0 \end{array}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商の一の位に0をたてる。 商に小数点をうつ。 わられる数に0をつけたしてわり進む。</li> </ul>								
$\begin{array}{r} 3.2 \\ 2.5 \overline{) 8.0} \\ \underline{75} \\ 50 \\ \underline{50} \\ 0 \end{array}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わられる数が整数のとき 0をつけたす。 小数点をうつ。</li> </ul>								
<p>○<math>\frac{1}{10}</math>の位までの小数どうしの除法の筆算（商が純小数や、被除数に0を補う場合）ができる。（表現・処理）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商と被除数の関係を考えることを確認する。</li> </ul>	<p>9 適用</p> <p>教科書の問題に取り組む。（3問）</p> <p>10 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習感想をノートにまとめ、発表し合う。</li> </ul> <p>11 次の時の確認</p>	<p>広 げ る 7 分</p>	<p>■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■</p>						

<ul style="list-style-type: none"> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> </ul>		<p>6 学び合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの考えを発表し合う。</li> <li>・計算のしかたのよさを発表し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算が終わったら、それぞれの計算をした感想をノートの吹き出しに書かせる。</li> <li>・黒板に書いて、発表させる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> </ul>	<p>まとめ 5分</p>	<p>7 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">       分数のかけ算とわり算のまざった式は、一つのかけ算の式にまとめた後、約分をしてから計算をする。     </div>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> </ul>	<p>広げる 25分</p>	<p>8 適用</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto;">       がっちりコース 全員     </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">         ぐんぐんコース       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">         じっくりコース ①途中約分なし ②約分1つあり       </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">         ものしり コーナー (教科書)       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">         ぐんぐんコース       </div> </div> </div> <p>9 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習感想をノートにまとめ、発表し合う。</li> </ul> <p>10 次時の確認</p>	<p>○3口の分数の乗除混合計算ができる。 (表現・処理)</p> <p><b>※個に応じた指導の工夫</b></p> <p>A：3口の分数の乗除混合計算が速く正確にできるように、自分の力でコースを進めさせる。</p> <p>B：3口の分数の乗除混合計算ができるようにさせる。</p> <p>C：板書やノートを参考に、分数のわり算のしかたを振り返りながら、かけ算だけの式に直させ、一度に計算できるようにさせる。</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">がっちりコース</span> 類題1問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自で答え合わせをした後、自分に合ったコースを選び、学習を進めさせる。</li> </ul> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">じっくりコース</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ぐんぐんコース</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1枚2問程度とし、答えを間違えた場合、どこで間違えたのか原因を考え、裏にもう一度計算させる。</li> </ul> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ものしりコーナー</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の分数と小数のまざった発展的な計算にチャレンジさせる。</li> <li>・早くコースが終わった児童には、学習ノートを見て、本時の振り返りをさせ、学習感想を書かせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数の文章問題の立式を考えることを確認する。</li> </ul>

(4) 板書計画

<p>(1) <math>2.8 \div 3.5</math>                  (2) <math>1.8 \div 2.4</math>                  (3) <math>8 \div 2.5</math></p>	<p>いろいろな小数のわり算の 筆算のしかたを考えよう</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>(1) <math>3.5 \overline{)2.8.0}</math> 商の一の位に 0をたてて計算</p> <p>(2) <math>2.4 \overline{)1.8.0}</math> 商の一の位に 0をたてて 割り切れるまで計算</p> <p>(3) <math>2.5 \overline{)8.0}</math> 8を8.0に 直してから計算</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>(1) <math>3.5 \overline{)2.8.0}</math>  <math>\underline{2.80}</math>  <math>0</math></p> <p>(2) <math>2.4 \overline{)1.8.0}</math>  <math>\underline{1.68}</math>  <math>120</math>  <math>\underline{120}</math>  <math>0</math></p> <p>(3) <math>2.5 \overline{)8.0}</math>  <math>\underline{7.5}</math>  <math>50</math>  <math>\underline{50}</math>  <math>0</math></p> </div> <div style="width: 30%;"> <p><math>3.5 \overline{)2.8.0}</math>  <math>\underline{2.80}</math>  <math>0</math></p> <p><math>2.4 \overline{)1.8.0}</math>  <math>\underline{1.68}</math>  <math>120</math>  <math>\underline{120}</math>  <math>0</math></p> <p><math>2.5 \overline{)8.0}</math>  <math>\underline{7.5}</math>  <math>50</math>  <math>\underline{50}</math>  <math>0</math></p> </div> </div>
		<p>問題 (1)      (2)      (3)</p>

(5) 机間支援計画表 (自力解決の場合) 11月13日(木) 単元名「小数のわり算を考えよう」5/12時間

児童			
日常の様子			
予想行動			
机間支援計画			
実際の支援と変容			
児童			
日常の様子			
予想行動			
机間支援計画			
実際の支援と変容			

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <math display="block">\frac{3}{4} \div \frac{6}{5} \times \frac{1}{5}</math> </div> <p>① <math>\frac{3}{4} \div \frac{6}{5}</math> を計算する。          答えに <math>\frac{1}{5}</math> をかける。</p> <p>② わり算をかけ算になおして、一度に計算する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             かけ算、わり算のまざった分数計算のしかたを考えよう。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <math display="block">\frac{3}{4} \div \frac{6}{5} = \frac{3}{4} \times \frac{5}{6} = \frac{15}{24}</math> <math display="block">\frac{15}{24} \times \frac{1}{5} = \frac{15}{120} = \frac{1}{8}</math> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <math display="block">\frac{3}{4} \div \frac{6}{5} \times \frac{1}{5} = \frac{3}{4} \times \frac{5}{6} \times \frac{1}{5}</math> <math display="block">= \frac{3 \times 5 \times 1}{4 \times 6 \times 5}</math> <math display="block">= \frac{1}{8}</math> </div>	<p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <math display="block">\frac{3}{4} \div \frac{6}{5} \times \frac{1}{5} = \frac{3}{4} \times \frac{5}{6} \times \frac{1}{5}</math> <math display="block">= \frac{\boxed{1} \times \boxed{1}}{4 \times \cancel{6} \times \cancel{5}}</math> <math display="block">= \frac{1}{8}</math> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             分数のかけ算とわり算のまざった式は、一つのかけ算の式にまとめた後、約分をしてから計算する。         </div>
--	---	---

(5) 机間支援計画表 (適用の場合) 11月13日(木) 単元名「分数のかけ算とわり算を考えよう」5/12時間

児童			
日常の様子			
予想行動			
机間支援計画			
実際の支援と変容			